

令和5年度 第2回図書館協議会会議録

- ◆開催日時 令和5年(2023年)10月13日(金)午後1時30分~3時30分
- ◆開催場所 野洲図書館 本館 会議室
- ◆出席者 図書館協議会委員 8名(早川久登会長、松山裕子副会長、遠藤正一委員、岡田さゆり委員、岡田知巳委員、辻村琴美委員、中村聡子委員、山本宗司委員)
(欠席:宇野比呂久委員、披岸徹夫委員)
事務局3名(図書館長、副館長、専門員)
(傍聴者なし)

*配布資料について

ここに掲載した以外の資料については、図書館本館および中主分館で、図書館協議会議事録とともに公開しています。

(1) 令和4年度野洲図書館事業評価(外部評価)

【副館長】(資料①事業評価シート について説明)

資料①の裏面は、皆さんからのご意見を取りまとめそのまま記載しました。外部評価としてAかBCをつけて終わるのではなく総括も必要と考え、会長と相談し、前回に提示したのから様式を変更しました。下部に図書館協議会評価と評価欄を追加しました。現在掲載されているのは、会長の外部評価案です。これにA~Dをつけていただいて、次年度の運営に活用したいと思います。

【会長】案は、委員の皆さんの外部評価の記載事項をまとめたものですが、ご意見があれば伺いたいと思います。本日は我々としての評価をつけます。

1シート目の「市民の必要とする資料と情報の提供」について。図書館の自己評価はBです。

【委員】図書館協議会の評価について、図書館の自己評価がB、協議会としてもBでよいのではないかと考えます。

【会長】他に意見がありませんか？ それではB評価とします。

2シート目の「こども、若者と本をつなぐ」について。図書館の自己評価はBです。

【委員】年齢別の実利用者数は上がっていますが、人口は流動的です。人口によっては実利用者数が上がらなくてもパーセンテージ(実利用率)が上がるということがあるので、()書きで、その年齢層の実利用率を書くとわかりやすいのではないかと思います。

【館長】調査して、年齢別の実利用率の数字を出しておきます。

【委員】実利用者数を目標とするのか、実利用率を目標とするのか、令和4年度のものはこのままでよいですが、令和5年度の評価をどのようにとるか決める際には、考えておいてほしい。

【会長】人数よりはパーセンテージの方がわかりやすい。併記にしてはどうですか。

【館長】そうします。

【会長】このシートの外部評価も B でよいですか。

【委員】若年層の読者数を増やすという大きな課題があるので、B 評価でよいのではと思う。

【会長】それでは B 評価とします。

3シート目「誰もが利用できる図書館サービス」について。図書館の自己評価は B です。

【会長】来年度からは、駅の予約本受取ボックスの数字も増加していくことになります。郵送や宅配は、利用したい人はもっと多いのではないですか。もっと PR してもよいと思い、評価欄に記載しました。

【委員】評価欄の内容はよいのですが、語尾の表現として、「できないでしょうか」という言い方は、協議会の文言としては、くだけているのではないかと思います。前のシートと同様に「お願いしたい」と締めてはどうでしょうか。

【会長】2と3のシートとも「お願いしたい」で終わるとよくないかと思い「できないでしょうか」としましたが、遊びすぎたかもしれない。「お願いしたい」と変更します。こちらの評価としては、冊数はクリアしているので A でもよいですが、どうしますか。

【委員】PR 不足ではないか、と協議会として感じているので、そこを減点して、B でもよいのではないかと思います。

【委員】私も同じ意見です。PR の方法を変えればもっと増える、サービスを利用したい人にまだ情報が届いていないと思います。

【会長】それでは、B とします。

【会長】以上で、評価に関しては終わりですが、コメントなどありますか。

【委員】以前はビデオコーナー（AV 視聴コーナー）が、すごくスペースをとっていたと思いますが、今はどうなっていますか。ビデオ自体がもう一般的に使われていない状況です。前のままではスペースがもったいないと感じます。

【副館長】ビデオは、ほぼ準開架に移して、今は新規に購入した CD や DVD をメインに置いています。

【委員】郵送や宅配の対象の方に対しては、利用登録はどのようにされていますか。県立図書館では、郵送サービス対象者の登録は郵送でもできるようにしています。郵送でできれば、申込みが増えるのではないかと思います。

【館長】郵送・宅配の申込については、来館できない人には、初回は職員が自宅を訪問することにしています。

【委員】図書館に来なくても登録ができることをアピールしてもよいのではないのでしょうか。

【副館長】広報やずに以前掲載したことがあり、その時は問い合わせがありました。あれから時間がたっているので、また PR するようにしたいと思います。

【委員】駅の予約本受取ボックスのときにも出た話ですが、もともとの図書館利用者が受取先を駅に変えたパターンが多いと分析されていましたが、図書館に来なくても登録できるしくみがあるとよいと思います。大津市はおそらく電子書籍導入を機にだと思いますが、市民対象で市役所のインターネット申請のしくみを利用して登録しているとのことです。（カード自体は来館時に受取る）野洲市に同様のシステムがあるかわかりませんが、参考までにお知らせします。

【委員】野洲市にそれと同様のものはありますか。

【副館長】スマート申請というシステムがあり、その可能性については検討しています。本人確認や利用案内（細かいルールの説明）は、できれば対面で行いたいという思いもあり、慎重に考えはじめているところです。

【委員】大津市に聞いてみてはどうですか。

【副館長】こちらの調査では、画像ファイルで証明書類を送ってもらって、確認したらすぐに破棄する、という事例を把握しています。野洲市でも同様のことができないわけではないと思っています。

【委員】これから必要なことだと思います。ここに来館できるのは健常者です。身障者はここに来てカードを作ることはできません。図書館がサービスを広げていくときに、身障者もその対象となります。非来館登録のしゅみがあれば、それだけで利用は伸びると思います。県立美術館やNOMA（ボードレス アートミュージアム）では、視覚障がいの方に向けてさわれる絵本も充実しています。そういったものも取り入れて、視覚障がいのある人向けのコーナーを作ってみてはどうでしょうか。点字本なども力を入れれば、潜在的な読者層もつかめるのではないかと思います。そのためにはスマート申請も有効だと思います。

【会長】今図書館に来ている人でも、来館できなくなったときに、更新をどうするかという問題もあります。

【副館長】できる限り、そうしたバリアはなくしていく方向で進めていきたいと思っています。

(2) 令和5年度事業について

【館長】資料②の今年度の利用状況の推移を説明します。月別の貸出冊数が去年より多いのは4月と9月だけで、あとはマイナスです。出張貸出の数値は、本館の数に含めています。

資料③の予約本受取ボックスの利用状況について説明します。図書館システムの貸出統計だけではわかりにくいので、8月途中からですが、受取ボックスの機械に残る記録の統計を取り始めました。使われている時間がわかります。思ったよりも日中の利用が多いのですが、図書館の開館時間以外の利用が半分近くあるので、設置した意義はあったと思います。統計を取り始めてまだ途中なので、今年度いっぱい調査してまた分析する予定です。

資料④のアル・プラザ野洲出張の利用状況を説明します。8月まではセントラルコート、9月からはサービスセンターで実施しています。こちらの想定よりは利用者は多いです。毎月やっているとわかって来てくれる人もいれば、偶然居合わせて借りる人もいます。新規登録者は数字としては大きくないのですが、出張貸出の貸出冊数としてはそれなりの数です。

資料⑤の全国統計について説明します。線をひいているのが滋賀県内の自治体です。ランキングの上位にあがってくる自治体が多いことがわかります。野洲市は人口5万～6万未満の自治体で貸出冊数は2位です。裏面には蔵書冊数と予約件数を掲載しています。

今年度事業のチラシをつけています。(資料⑥～⑧)「としょかんで夜更かし」には多くの利用がありました。メニューは昨年から少し変更しました。書庫開放とおはなし会のほかに、ミニプラネタリウム作りを実施しました。受付に不備があってご迷惑をおかけしたのですが、当日は楽しんでもらえたと思います。入館者カウンターが壊れており、正確な利用人数は出ないのですが、この日の日中よりも人が多かったように思います。300～400人くらいでは

ないかと思えます。

【委員】「としょかんで夜更かし」の来館者の年齢層はどうでしたか。

【副館長】高齢の方は多くなかった。小さい子どもから働きざかりの人が多かった印象です。通常の日フロアの利用者よりは若かったと思います。小学生の子ども遅くまで残っていました。

【会長】次の日が祭日なので、それもよかったのではないですか。

【副館長】以前に開催していた「としょかんでないと」と同じ、3連休の中日に設定しました。

【委員】来年もぜひ実施してください。

【館長】「蓮岡修さん講演会」について。イベントとしてドキュメンタリーの上映もします。「一箱古本市」は去年に続き、2回目の企画です。チラシの配布資料は今回は用意していませんが、「みんなで成瀬を語る会」はファンミーティングとして実施し、89人の参加があり、大変好評でした。

館内のレイアウトを変更しました。自習もできる席を追加しました。開架室では持ち込みの自習はできないのですが、要望が多く検討しました。もともと複合施設なので、図書館機能以外のスペースで自習もできる席を増やしました。喫茶コーナー・フリースペースと、会議室も予約がなければ開放することとして、最大57席です。中主分館にも1席用意しました。打ち合わせをする人や静かな環境を求める人など、利用をする方の目的によって相反することもあります。折り合いをつけながら使っていただけたらと思っています。

「学校図書館支援員」の業務進捗について、本人から説明します。

【専門員】今年度、学校教育課との兼務で学校図書館支援員として学校図書館のサポートを行っています。主な業務は4つです。1つ目は調べ学習用資料の配送。授業のための資料調達は学校司書の基本的業務ですが、今年度は学校司書がいなかったため、この運搬を行っています。2つ目は学校図書館システムの操作支援。これにはシステムの保守業者であるキステムとのやりとりと、先生やボランティアのサポートの2つがあります。キステムにはシステム操作性向上のための要望、質問、不具合対応などを、今年度は既に43件行っています。現場のサポートは、システム操作の質問対応のほか、ラベル貼り替えのサポートなどを行っています。3つ目は先生向けの選書会および先生やボランティア向けのシステム操作研修会の開催で、これは実施済みです。4つ目はモデル校の集中整備。今年度は祇王小学校を学校図書館整備モデル校とし、先生方の協力を得ながら、10月現在ほぼ整備を完了しました。今後はここで得られたノウハウを他校に活かしていく予定です。現在は、次年度の学校司書配置に向けて、資料作成を行ったり、現在の学校図書館の課題や問題をまとめているところです。

【会長】何か質問等がありますか。

【委員】郵送貸出の送料について、予算はどのようになっていますか。

【館長】おおよその利用想定人数×送料で、予算をとっています。

【委員】送料自体はそんなに高くないということですか。

【館長】通常の郵送料より安いことと、貸出は郵送でも返却はブックポストに入れてくださることなどもあり、それほど大きな金額にはなっていません。

【委員】「としょかんで夜更かし」を子どもと一緒に参加を楽しみにされていた親子を知ってい

ます。スタッフとしてボランティアを募集して(中高生、大学生、大人まで)、図書館もお手伝いする側も winwin になるような踏み込んだ企画をしていただけたらいいかと思います。

【委員】利用状況について、夏休みの利用が減っている。ここを分析すると、対策ができるかと思います。予約本受取ボックスは、やはり会社帰りの利用が多い印象です。ニーズと合っている。数字をとって分析すると、大きなニーズがつかめると思います。アル・プラザ野洲での出張貸出はとてもいい試みです。広い場所でできるのもよいし、いろいろな層が来ることがわかって、商業施設も図書館になるということがとてもよいと思います。続けてほしい。

全国2位もおめでとうございませう。イベントも今の社会情勢に合わせた内容だと思ひます。本好きの心をつかむ取組を今後も続けてほしい。

障害を持った人への支援を考へてもらって、その方へ本を届ける取組に入れてもらえればありがたいと思ひます。

【会長】駅の受取ボックスは1000人以上が借りているのに合計の貸出冊数は増えていないのは、結局本館の利用が流れたということでしょうか。

【副館長】駅前のマンション住まいの方など、無理をして図書館まで来ていた人が、駅受取りに変えたというケースもあります。それに在勤の方が図書館開館の時間外に使っている等もあります。新規で増えた分も確かにあります。ただ、提供できる能力が34ボックスしかないので、これ以上伸ばすのが難しいところではあります。

【会長】「利用が減っていくところを減らさなかった」という効果なのでしょう。年齢別の分析はどうですか。子どもの利用もあるのですか。

【副館長】親が子どもの本を予約するということはあります。子どもの利用はそれほどないようではあります。

【委員】34ボックスの空き状況はどうですか。

【館長】常に埋まっている状態です。本館には予約本が用意できているのに、ボックスが空くの待っている本がたくさんあります。

【副館長】置き期限は5日で、駅を利用している人の利用が多いので、回転はわりと速いようではあります。

【委員】こういった事例は他市にもあるのですか。

【委員】県内にはない。ただ、予約本受取ボックスが商品としてあるので、県外の他の事例はあるとは思ひます。

【委員】以前は在架予約(書架にある本の予約)はできなかったが、コロナのときから始められました。駅での受け取りシステムは、在架予約のシステムがあるからできているのだと思ひますが、いつまで続ける予定ですか。

【館長】いつまで続けるか検討はしています。在架予約の利用がとても多いことと、職員がやってやれない作業量ではないので、できれば続けていきたいと思ひています。

【委員】ぜひ続けていただきたいと思ひます。私も使っていてとても便利ではあります。

【委員】予約本受取ボックスの増設の可能性はありますか。

【館長】同じ場所での増設はスペースがないのでできません。それ以外の場所の増設はやろうと思へばできますが、コストを考へると難しいと思ひます。この予約本受取ボックスは国のコロナの交付金を活用したから導入できました。今後については、機械を設置するのがいい

いのか、それともどこかの施設、たとえばコンビニ等に委託して受取できるようにするのがよいのか等も含めて検討しています。

【委員】増設は簡単ですが、コンビニ委託もすごくいいと思います。コンビニで受取できれば、誰でも近くで受け取れるということなので、ぜひ実現をお願いしたいと思います。

自習席は、学生にとってとてもありがたい。図書館の近くで学生が勉強している姿が、その人が大きくなったときに図書館をまた利用しようかとなると思うので、未来の利用者を増やしていると思います。受け入れてあげてほしい。

【会長】図書館は、もともと自習席はつくらないという方針だったと思いますが、それが変わったのはなぜですか。

【館長】5年前に市民活動支援センターが図書館の建物内からなくなったときに、事務室の跡地を市民にフリースペースとして使ってもらうことにしました。そこは自習もできる席とするは既にやっていました。

【委員】閲覧室が学生ばかりになると、学生だけの図書館になってしまうので、建前としてやっていなかった、それが世の流れとして、作るようになったということではないですか？

【館長】図書館は、戦後長く学生の受験勉強の場所として認識されていて、それが図書館本来の目的を達成するための妨げになっていました。市民が必要とする資料と情報を提供することが図書館の役割です。市民が読みたい本を貸す、図書館の本来の役割を果たす方向に社会の流れが変化してきて、滋賀県内の図書館でも以前は自習席はつくっていませんでした。でも、過去に図書館で自習をした人もいたので、自習席の要望はなくなりません。県内の図書館で自習席を設置したところも、要望に応えてやむを得ず、ということではないかと思います。野洲図書館は複合施設として作られたので、閲覧室ではないところに設けることで、図書館本来の機能を損なわず設置することができたと考えています。

【副館長】正確には「自習もできる席」です。学生だけでなく、社会人も仕事を自宅だけではなく別の場所でしたいというニーズがあります。多用途に使える、今までのフリースペースより一歩踏み込んだ形です。市民ニーズを汲むという意味では一歩進めたのかと思っています。

【委員】5年前から、非常に消極的に開放していたということですね。今回は声を少し大きくしてみたということでしょうか。「守山図書館には自習席があるので大変好評です」という話が、協議会で出たこともあります。図書館ではいろんなことができるので、市民の皆さんもっと図書館に来てください、という方向に進んだということなので、もっと積極的にPRして、市民を呼び込んでほしいと思います。

【会長】理論武装をもっとしっかりしてほしい。図書館の利用を伸ばすための手段。守山は自習席もあるし、貸出も100万冊貸しています。自習ができることで利用が増え、貸出につながった、というスタンスもとれます。守山は席をインターネットで予約がとれるようになっていますが、野洲でそれをやったときに、なし崩し的に閲覧室まで自習をする人が流れ込まないかと危惧します。

【委員】物理的な問題もあります。守山は閲覧室内に自習席がありますが、野洲はそうではありません。職員の目の届き具合の問題もあります。

【委員】貸館は市民協働センターが担当しているので、センターの方が管理しやすいのでは

ないでしょうか。センターとも協議し、ルールや思いなどしっかりスタンスを確立してから発表されてはどうかと思います。

【委員】私は本を使いながら閲覧室で原稿を書くことがあります、よくはかどります。市民協働センターとタッグを組んで、市民・学習の支援の枠組みを作ってもらって、交通整理をしてはどうかと思います。自習だけでなく、リモートワークをする人が来る可能性もあります。

【館長】このレイアウト変更は7月にスタートしましたが、その際に市民協働センターとはしっかり協議し、ポスターもわかりやすいものを作成しました。HPにも掲載しました。さらにもっとPRを、ということについては、もう少し何かできたらと思う。

【委員】市の広報に載せてもらってはどうかでしょうか。

【委員】新聞をとってない家には広報は入りません。各施設に置いてあったり取り寄せも可能ですが、手にいれようと思わないとできないので、広報に載せても読まないかもしれません。

【委員】守山の新館ができたときに、開館前から自習席を目的とした子どもたちが行列を作っている様子が報道されました。席の管理が難しく、インターネットの予約制になりました。広く知られた場合、同じように開館前から野洲にも列ができる恐れがあります。その整理をどうするのか、席貸しは昭和のころからの図書館の悩みで、列の整理に労力を使って本来の図書館業務ができない時代が長く続いていました。図書館は本を貸すところで席を貸すところではない。ただ、この頃こういう動きが出てきた中で、対応がなかなか難しい。県内では長浜市と守山市と草津市、大津市にも学習席があり、日野は学習席というより、子どもが居られる場所として開放されました。心配するのは、それを置いたがために図書館職員が本来の仕事ができなくなることです。長浜市は別の部署が管理されています。本も利用してほしいと図書館が工夫しても、自習する子は自習しかしないことも多く、図書館利用につながっていかない。守山の図書館で、「勉強ばかりではなくて、ちょっと頭を休めましょう」といった本を置こうとしていたそうですが、学生の委員から、「勉強する子は勉強しているので気休めの本は見ない。いま勉強していることについての学問的な本や啓蒙書、勉強に関する本を置いた方が利用があるのでは」という意見がありました。いずれにしても自習している子どもを本の利用につなげるのは本当に難しいようです。野洲も自習ができるスペースがあると広く知られたら、近隣から自習したい子どもが殺到して、その管理に対する労力をとられて、本来の図書館サービスをするべき人員がそちらに労力を割かれ、図書館としての力が下がることが心配されます。市民協働センターとよく相談し、図書館サービスの力を落とさないようにしてほしい。司書は資料提供をするための人員であって、席管理のための人員ではありません。そこだけは図書館にもお願いしたいし、図書館協議会の皆さんにもそのスタンスからの応援をお願いしたい。席管理に図書館のリソースを食われないことが大事です。

【委員】図書館は「本に親しむ」ところだから、この軸がブレるようになってしまっただけとはいけません。空いているかもしれないけど、本を読みたい人のために場所を確保しておくべきです。自分は図書館で勉強をしましたが、朝から夜までいますから、それは怒られます。勉強する場所も作ってあげたらよいですが、それで3~4時間も席を占有したら、他にも勉強したい人がいるんだから。開架室を占有するようになってはいけません。最近マクドナルドやスターバックスで宿題や勉強をずーっとしたりする子がいる。ちょっと考えないといけない。そ

れが当たり前になってしまうと、本来の本に親しむというのがなくなってしまう。本に親しみたい人も、静かに読みたい人も。アメリカではマクドナルドに席を使えるのは「30分だけ」と貼り紙がしてあります。図書館は何のためにあるのか、いろんな本が置いてあって、本が読みたい、ここでしか調べられないことを調べたりする、資料的な場所、読書的な場所です。家では本に親しめない家庭の子もたくさんいます。そういう子が本を読んだりできる場所は図書館しかない。学校もそう、学校きたら勉強する。家庭では落ち着いて勉強できない子も多い。勉強できる場所は学校しかない。学校は勉強できると感じられる教室を作っておかないといけない。学校は世界に出ていくための学力をつける場所、それは外したらいけない。図書館もそうで、図書館サービスを提供する場所なのだから、付随的に勉強できる場所も確保してあげてもよいが、開架室を占領してしまうようなことはよくない。そういう子が本を読める場所としての図書館、勉強する場所としての学校、そういう場所をしっかり作っておかないといけないと思います。バランスが大事です。延々とやったらいけない。インターネット予約するにしても、交代して使えるとか、工夫が必要です。勉強したい子がいるから助けてあげたらいい等、いろいろな意見は皆正しいが、いいバランスの着地点があればと思います。

【委員】野洲と守山の両方の図書館を使っている身からすると、野洲はバランスがいい。守山は、ちょっと落ち着いて座れる席が本当はない。本来の軸を失っているように思います。市民の活用という意味ではいいけれど、スペースがないのは、バランスを崩していると思います。野洲では、できたらこのままの維持をしながら、でも時にはにぎやかになりすぎていることもあるので、そのあたりは管理しながらやっていただけたらと思います。

【委員】席貸しの問題は昔からあります。戸田豊志さんの図書館員日記「一図書館員から見た日本」というブログで、席貸しの問題をとりあげています。学習室を設けたときの苦労なども描かれているので、参考にしてほしいと思います。

【委員】個人的に石部の図書館も利用しているので、石部図書館廃館のことは心配です。石部には貴重な本もいっぱいあります。びわこ学園の系賀さんの本や、石部に住んでいた短歌の河野裕子さんと永田和宏さんの書籍もずらっとあるのですが、これらはどうするつもりなのか、粗末にはしてほしくないと思います。

(3) 野洲市議会一般質問について

【館長】8月議会で「学校図書館整備と読書整備について」津村議員の質問がありましたので紹介します。「学校図書館の現状と見解について」「学校と市の図書館との連携について」など9点を質問されました。その中で「学校図書館司書の配置について」の質問に対して、「学校の図書館の活性化には、学校図書館司書と教員の連携が欠かせないと考えます。そのため、次年度、学校司書の配置ができるように、予算要求をしていきます。」と教育長が回答されました。インターネットでこのときの質問の様子を見られるようになっています。

【委員】祇王小学校は今年モデル校になっています。学校図書館支援員に来てもらって、学校はすぐ変わりました。いままでは(作業は)図書系の先生がやっていて、人が足りないからボランティアをお願いする等をしていましたが、今年は夏休みに先生たちが図書室のラベル貼り替えに参加しました。そうしたら仲間になって、先生もみんなでやろうという意識が変わりました。それはなぜかという、今は教室前の廊下に長机が置かれて、子どもたちが手

に取れるように授業の関連本が並ぶようになりました。このコーナーができて教師の意識がすごく変わりました。以前は教科書の関連本を読ませたくても、本がありませんでした。本があると教師もやってみようかなと思うし、子どもも本が目の前にあると、興味をもって見えます。来てくれたらこんなに違うのかなと思います。そう思うと、子どもたちはそういうのを求めているのだと思います。すべての小学校へ学校司書を配置してほしいと思いますが、それが難しいなら、半分の3人で交互に回ってもらうとかでも、学校司書配置があると、きっと学校も変わるし、子どもも変わるし、子どもと本、さらに子どもと野洲図書館の距離が縮まると思います。これがもっと広がっていくといいと思います。中学校にも行ってくれるとよいですが、そのためには人が増えないといけない。今の状態ではやるのは無理です。

【委員】効果は大きいということですね。

(4) その他 図書館関係新聞記事紹介

【副館長】図書館関係の新聞記事を紹介します。「子ども読書センター 県立図書館に設置」の記事は、県として子どもへのサービスに乗り出したということです。効果がある形で進めることができるかは、今後の課題です。

湖南省石部図書館廃館のニュースについて。住民の反対多いので、継続審議だったはずですが、新たに「解体」の記事が出ました。

学校図書館に関する記事について。野洲市では学校司書の配置がゼロだったところを積み重ねていこうとしていますが、全国の学校図書館の状況が掲載されています。

図書館の複本問題（図書館が同じ本を複数購入すること）について。自民党の議員連盟がまちの書店の売り上げが下がっていることへの提言として、図書館が複本を買っているから、という理論です。これまでも同様の議論がありました。図書館の複本冊数は、全体のごく一部であることを考えると、この議論は疑問です。

図書館資料への外部圧力について。『はだしのゲン』、岐阜県の事例（町の意向に反する本の図書館での取り扱い）の記事。知る権利のためには、考える材料として、特定の資料を市民に提供しないという選択肢はあり得ないのではないかと思います。

時間がないので抜粋して紹介しましたが、質問があればいつでも聞いてください。

【委員】野洲図書館として、この一連の記事の中で、これが壁だ、ということがありますか。

【副館長】今紹介した記事は、図書館に関するトピックスの羅列ですが、どれも野洲図書館としてきちんと考えておくべき事例です。たとえば複本問題、野洲では通常は予約7~8人待ちで複本の買い足しを検討しています。それをするなど言われたときに、それはおかしいのではという意見は持つておかななくてははいけない。市民の中には反対意見もあるかと思うので、限られた資料費を有効活用するという意味でも、先々を考えながら仕事をしていかねばと考えています。

【会長】他に何かありますか。それでは議事はこれですべて終了しました。

【館長】今年度の協議会はあと2回です。よろしくお願いいたします。これで閉会とします。

令和5年度 第2回図書館協議会 次第

令和5年(2023年)10月13日(金)

13時30分～15時30分

野洲図書館 本館

1. 開 会

2. 議 事

(1) 令和4年度野洲図書館事業評価(外部評価)について

(2) 令和5年度事業について

(3) 野洲市議会一般質問について

(4) その他

* 次回の会議予定

3. 閉 会

当日配布資料

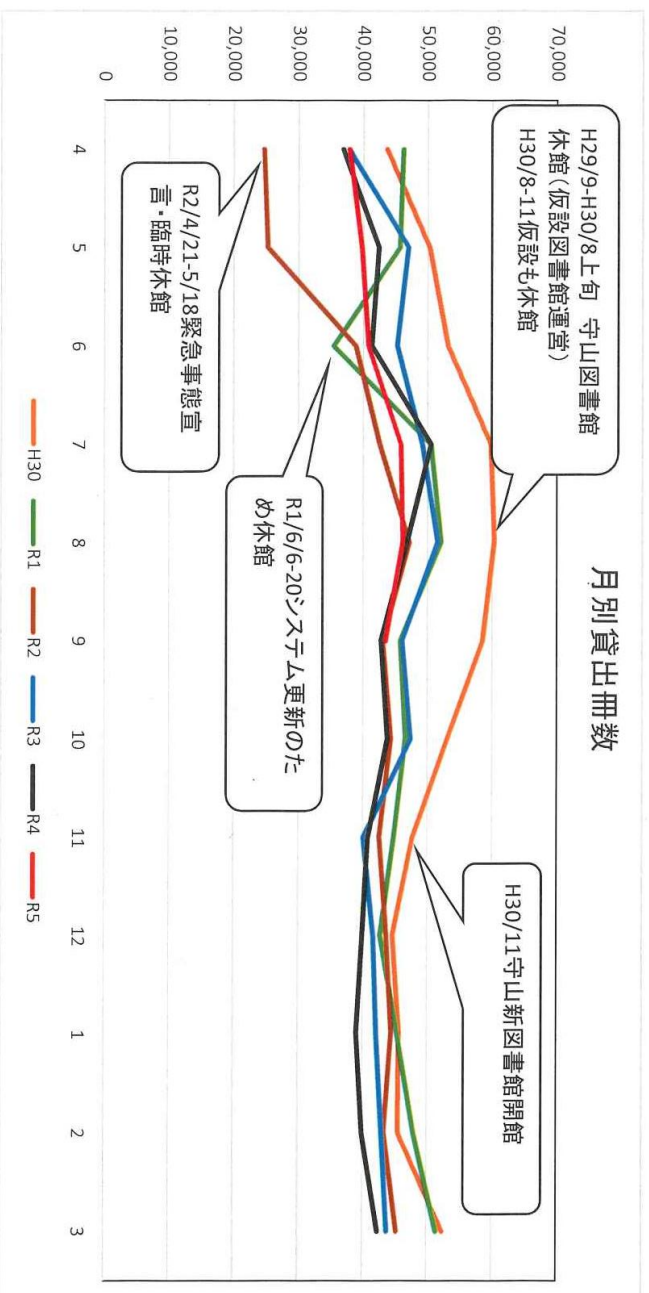
- ① 令和4年度 野洲図書館 事業評価シート
- ② 野洲図書館 利用状況の推移(グラフ)
- ③ 予約本受取ボックス 利用状況(グラフ)
- ④ アル・プラザ野洲出張貸出 利用状況
- ⑤ 日本図書館協会 人口規模別全国統計 令和3年度
- ⑥ としょかんで夜更かし チラシ
- ⑦ 蓮岡修さん講演会 チラシ
- ⑧ 一箱古本市 チラシ
- ⑨ 図書館関係記事
- ⑩ 図書館だより 10月号
- ⑪ 図書館カレンダー

野洲図書館 利用状況の推移

月別貸出冊数

	本館	中主	駅	R5	前年比	H30	R1	R2	R3	R4	R5
4	34,336	2,872	651	37,859	2.7%	43,693	46,273	24,644	37,810	36,875	37,859
5	35,789	3,060	902	39,751	-6.4%	50,316	45,702	25,195	47,032	42,453	39,751
6	36,792	2,903	1,136	40,831	-1.3%	53,162	35,436	38,864	45,301	41,357	40,831
7	41,180	3,613	1,048	45,841	-9.3%	59,772	50,525	42,550	49,203	50,550	45,841
8	41,518	3,501	1,133	46,152	-1.4%	60,315	52,134	47,184	51,614	46,827	46,152
9	39,308	2,947	1,272	43,527	1.7%	58,526	45,792	43,065	46,102	42,803	43,527
10				0	-100.0%	53,093	46,634	44,364	47,438	43,816	
11				0	-100.0%	47,734	44,865	42,563	40,092	40,812	
12				0	-100.0%	44,635	42,785	43,662	41,686	39,962	
1				0	-100.0%	45,681	45,448	44,462	42,196	39,048	
2				0	-100.0%	45,554	48,005	43,359	43,032	39,936	
3				0	-100.0%	52,425	51,491	45,306	43,831	42,357	
合計	228,923	18,896	6,142	253,961	-54.2%	614,906	555,090	485,218	535,337	506,796	

*出張貸出(アル・プラザ野洲、
小中学校等)は本館に含める



予約本受取ボックス 利用状況

(②③の調査期間：令和5年8月5日～9月)

資料③

①月別利用状況

月	貸出冊数	利用人数
4	651	285
5	902	392
6	1,136	426
7	1,048	386
8	1,133	387
9	1,272	399
10		
11		
12		
1		
2		
3		
合計	6,142	2,275

(Lios 年次統計)

②曜日別利用件数(1日平均)

曜日	8	9	10	11	12	1	2	3
月	15.5	12						
火	9.5	12						
水	15.3	14						
木	14.5	15.5						
金	9.7	13.6						
土	7.5	10.6						
日	8.8	12.5						

①の図書館のシステムの統計と、②③のボックスのロヴの手動の統計とは時差、誤差あり

③時間帯別利用状況

時間帯	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
0:00-4:59	3	4							7
5:00-5:59	1	3							4
6:00-6:59	3	7							10
7:00-7:59	16	13							29
8:00-8:59	8	10							18
9:00-9:59	7	13							20
10:00-10:59	18	16							34
11:00-11:59	24	29							53
12:00-12:59	16	20							36
13:00-13:59	22	19							41
14:00-14:59	15	16							31
15:00-15:59	16	17							33
16:00-16:59	27	32							59
17:00-17:59	43	39							82
18:00-18:59	37	54							91
19:00-19:59	33	42							75
20:00-20:59	23	23							46
21:00-21:59	12	16							28
22:00-22:59	7	5							12
23:00-23:59	5	7							12
合計	336	385	0	0	0	0	0	0	721

図書館開館時間(10-18時)以外の利用が369件 約51%

アル・プラザ野洲 出張貸出 利用状況 令和5年度

資料④

(6月から毎月第3金曜日10:30~12:00に開催)

	貸出冊数	利用人数	新規登録	場所	備考
6	82	28	1	セントラルコート	県立図書館事業 おはなし会
7	184	52	0	セントラルコート	県立図書館事業 おはなし会
8	172	39	2	セントラルコート	県立図書館事業 おはなし会
9	77	22	2	サービスセンター	
10					
11					
12					
1					
2					
3					
合計	515	141	5		



↑入口に設置したのぼり



↑セントラルコートでの様子 8月



↑県立図書館職員によるおはなし会 6月



↑サービスセンターでの様子 9月